

最後のチャイム

まだほんのり冷たい春風に  
声を合わせ歌う子等に  
傍らで泣く先生に  
想いをのせたピアノの音に  
見守るわたしの胸に  
最後のチャイムが鳴る

小さな街の小さな講堂に  
こんなにもあふるる愛が  
どうしようもなく  
哀しく切なく  
最後のチャイムが鳴る